



きらめき  
マイタウン

く  
る  
め  
久留米市

人、モノ、文化、  
あらゆるものが  
調和した  
心通うまち



### 久留米シティプラザ

平成28年4月27日に開館した文化交流施設。コンサートや演劇が開催されるホールをはじめ、さまざまなイベントが行われる広場、自由にくつろげるフリースペースなどがあり、市民に親しまれている



**山苞の道**  
耳納連山に包まれるように続く、5.7kmの道。史跡・旧跡をはじめ、さまざまなギャラリーや観光農園などのスポットが集まっている



**水天宮**  
全国にある水天宮の総本宮。壇ノ浦の戦いで生き延びた平家の女官・按察使局伊勢が、安徳天皇と平家一門を祭ったのが起源。現在は安産の神様として知られている



**世界のつばき館**  
ツバキの起源である原種ツバキをはじめ、世界中のツバキを収集・展示。四季を通じてさまざまなツバキに出会うことができる貴重な施設



**九州オルレ 高良山コース**  
JR久留米大学前駅をスタートし、久留米森林つつじ公園、高良大社、妙見神社、王子池を巡りJR御井駅をゴールとする約8.6kmのトレッキングコース



**道の駅くるめ**  
地元で採れた新鮮な農産物や手作りの加工品、地酒などが並ぶ「農産物直売館」をはじめ、旬の食材を使った郷土料理が食べられるレストランもおすすめ



**北野コスモス街道**  
陣屋川の堤防約3.5kmにわたり、約50万本ものコスモスが咲き誇る人気スポット。開花期は10月。「未来にのこしたい日本の花風景『池坊 花道通100選』」に認定

**福岡 久留米館がオープン**



久留米市・大川市・小郡市・うきは市・大刀洗町・大木町で構成する久留米広域連携中枢都市圏による共同アンテナショップ「福岡 久留米館」が、平成29年7月22日(土)に東京・新橋にオープン。新鮮なフルーツや地酒、伝統工芸品などの特産品の販売に加え、移住や観光に関する相談窓口を設置するなど、久留米をはじめとする4市2町の魅力を発信しています。

**問い合わせ**

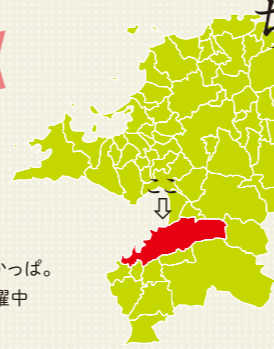
久留米市役所  
久留米市城南町15-3  
☎0942-30-9000(代表)  
ファクス0942-30-9706  
<http://www.city.kurume.fukuoka.jp>

**充実の暮らしがかなう 豊かで便利なまち**  
九州一の大河・筑後川と雄大な耳納連山に抱かれた久留米市は、平成17年に旧久留米市・田主丸町・北野町・城島町・三潴町の1市4町が合併し、現在の姿となった県南部の中核都市。豊かな自然、交通の利便性の高さ、農業・商工業の発展、充実の医療、地元ならではのグルメや伝統工芸品を愛し育む気質があり、「暮らしやすく住み続けたいなまち」として知られています。  
また、「ほとめき(筑後地方の方言で「おもてなし」の意味)の街久留米」のキャッチコピーからも伝わるように、訪れる人を温かく迎えてくれる風土があります。



**ご当地キャラ紹介**

久留米市イメージキャラクター  
**くるっば**  
市内を流れる筑後川で生まれたかっば。「キラリ久留米宣伝課長」として活躍中



**久留米ラーメン**  
とんこつラーメン発祥の地である久留米には、おいしいラーメンの人気店が多数。今年はとんこつラーメン誕生から80周年に当たり、10月には記念イベントを開催予定



**医療のまち**  
市内には34の病院と300を超える診療所があり、人口10万人当たりの医師数は全国トップクラス。ドクターカーの運行など、救急医療も充実している



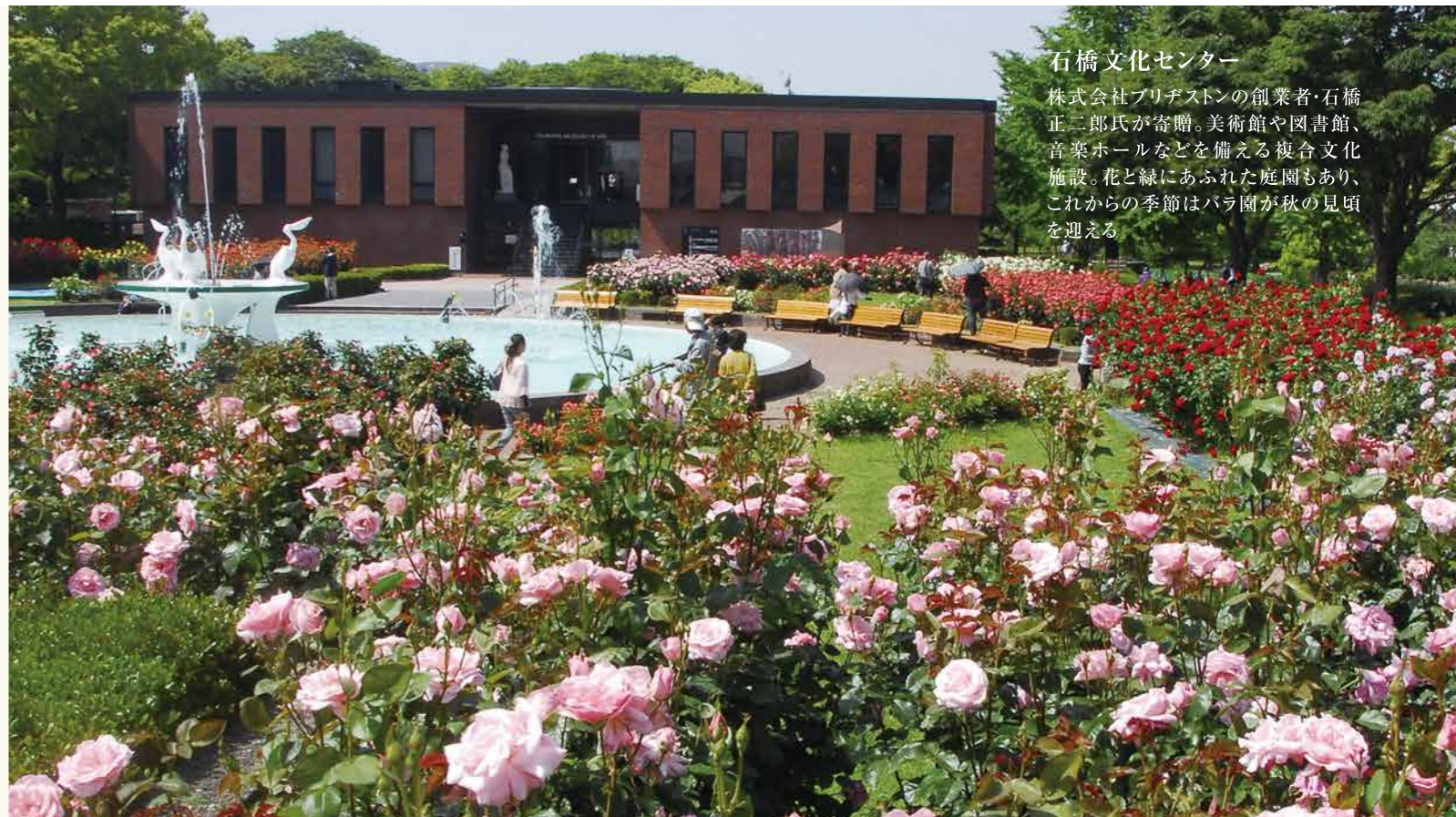
**酒どころ**  
市内に15軒ある造り酒屋のうち、その多くが集まる城島地域は、古くから全国に名だたる酒どころ。毎年2月になると新酒が楽しめる「城島酒蔵びらき」を開催



**フルーツ観光**  
田主丸は果樹栽培が盛んな地域。巨峰や柿、梨、イチゴなどのフルーツ狩りを楽しむことができ、国内外問わず多くの観光客が訪れている



**コミュニティサイクル「くるクル」**  
市内10カ所に自転車がレンタルできるサイクルポートを設置。どこからでも利用・返却ができるので、ちょっとした移動から観光まで幅広く活用できる



**石橋文化センター**  
株式会社ブリヂストンの創業者・石橋正二郎氏が寄贈。美術館や図書館、音楽ホールなどを備える複合文化施設。花と緑にあふれた庭園もあり、これからの季節はバラ園が秋の見頃を迎える

## 久留米移住計画

「おかえり、くるめ。」を合言葉に久留米暮らしの魅力を伝える

平成27年に発足した「久留米移住計画」は、久留米市内でリノベーションした賃貸アパートを経営する代表の半田啓祐さんをはじめ、女性の起業サポートを行う中村路子さんなど、地元久留米でそれぞれに活躍する30代のメンバーが集まって結成。久留米へのUターンや移住、二拠点居住に興味を持つ人の相談に応じるだけでなく、短期間のお試し移住や視察ツアー、東京や大阪でのトークライブなど、若い世代ならではの感性で移住推進につながるイベントを数多く開催しています。

「自然豊かだけど30万都市で交通の便もいい。移住をキーワードに、久留米のアピールポイントを発信していけたら」と半田さん。単に移住を勧めるだけではなく、久留米のまちや暮らしを楽しむ提案を行っていくことで、久留米をたくさんの人の故郷にしたいと考えています。



1/「久留米フェスティバルin天神」では、ブース内にミカンが置かれたコタツだけを用意し、訪れた人とまったり久留米トークを行うというユニークなスタイルが話題に 2/年に2回程度、東京や大阪でトークライブを開催 3/「久留米は自分らしく、楽しく暮らせるまち。それを発信していきたい」と話す半田さん(左)と中村さん(右)

## NPO法人 久留米ブランド研究会

地域資源を活用したまちづくりで久留米のブランド力を向上

平成17年の合併で新しい久留米が誕生した際、「合併後のまちの魅力をどう発信していくか」が課題の一つになったといいます。そうした状況を踏まえ、地域資源を活用したまちづくりを通じて久留米のブランド力を高めようと、平成24年に設立されたのが、「久留米ブランド研究会」です。

その主な活動は、体験交流型観光プログラム「久留米まち旅博覧会」(まち旅)と名物のラーメンや焼きとりなどをお得に楽しむことができる「久留米くるくるチケット」の運営。特に、寺社や商店、病院、工場、鉄道など市内のあらゆる業種の企業や団体が自ら考えた企画を、厳選し磨き上げた「まち旅」は、毎年申し込みが殺到し、予約を取るのが難しいほどの人気ぶり。「久留米らしさや新しさにこだわった企画は、市内外のたくさんの方に好評いただいています」と、自信を持って地域の魅力を発信しています。



1/「まち旅」では、10月と11月の2カ月間、「JR久留米駅バックヤードツアー」など、80の体験型企画が開催される 2/「久留米まち旅博覧会」の取り組みが高い評価を受け、平成27年には国土交通省の「地域づくり表彰」で国土交通大臣賞を受賞 3/「私たちはプログラムを企画する企業や団体と参加されるお客さまとの橋渡し役」と事務局長の矢次恵美子さん(下段・左)



## 久留米南部商工会 はとむぎプロジェクト

安心・安全の久留米産ハトムギで美と健康を地元、そして全国に発信

広大な水田が広がる久留米市三潁町は、米の裏作としてハトムギの生産が盛んな地域。全国でも有数の生産地として知られています。ハトムギは穀物の中でも栄養価が高く、美容・健康への効果が高いとされています。「安心・安全な久留米産のハトムギをたくさんの方に食べてもらいたい」と、平成22年に久留米南部商工会が中心となり、「はとむぎプロジェクト」を発足。和洋菓子店や酒造会社、化粧品メーカーなど、ジャンルを超えた企業や店舗が参加し、商品開発や販路開拓に取り組んでいます。

県内のイベントはもちろん、東京の物産展などにも積極的に参加し、久留米ならではの新たな特産品としてさまざまなハトムギ製品を紹介。メンバーは「ハトムギの魅力を知ってもらうことから始めたが、販売にもさらに力を入れていきたい」と抱負を語ります。

1/「お土産やギフトとして活用してもらおうなど、まずは地元から盛り上げていければ」と話す、はとむぎプロジェクトのメンバー 2/協力企業・店舗が独自に開発し、販売している多種多様なハトムギ製品 3/平成27年11月に東京ビッグサイトで開催された「地方銀行フードセレクション」では、来場者にハトムギ製品の魅力を紹介



## スタジオMJダンススクール

地元のイベントステージから世界大会まで幅広く活躍中

ダンスを通じて世界に羽ばたく人材を育てる「スタジオMJダンススクール」は、3歳から40歳まで、幅広い年齢のメンバー100人以上が在籍。地元・久留米はもちろん、県外のイベントに出演するほか、海外で活躍するメンバーもいる話題のダンススクールです。中でも、エンターテインメント性の高いパフォーマンスで多くの人を魅了しているのが、ブレイクダンスのキッズダンサーチーム「九州男児新鮮組」。CM出演や、ブレイクダンスの世界大会で優勝を果たしたメンバーも在籍しており、テレビや雑誌からのオファーで引っ張りだこです。

22年前の開校当時はイベント出演さえかなわなかったというスタジオMJ。今でもその頃の思いを忘れず、地元の小さなイベントにも積極的に参加し、久留米を大いに盛り上げています。

1/久留米市のキャラクター「くるっば」が「九州男児新鮮組」に加入。素晴らしいダンスを披露しているのだから 2/「私たちが育ててくれた久留米のまちに恩返しをしていきたい」と話すインストラクターのSHUVANさん(最前列中央)と教え子のダンサーたち 3/アクロバティックな演出も「九州男児新鮮組」の魅力